

## 令和7年度 第3回学校関係者評価委員会議事録

鹿児島県立鶴丸高等学校

1 日 時 令和8年2月18日(水) 15:00~16:30

2 場 所 本館3階 研修室A

3 出席者 計17名

評価委員(5名)

- ・本校同窓会副会長(卒業生代表)
- ・建築事務所代表取締役(地域代表)
- ・私立短期大学教授(地域代表)
- ・公立中学校長(中学校代表)
- ・PTA副会長(保護者代表)

学校側出席者(12名)

- ・校長
- ・教頭(2名)
- ・事務長
- ・教務課主任
- ・生徒指導課主任
- ・保健課主任
- ・進路指導課主任
- ・1学年主任
- ・2学年主任
- ・3学年主任
- ・教務課副主任

4 会 順

- (1) 校長あいさつ
- (2) 学校評価アンケートについて
- (3) いじめ防止対策について
- (4) 各課・各学年の年間反省
- (5) 来年度に向けての意見交換
- (6) その他

5 質疑応答

(1) 学校評価アンケートについて

- ・特記事項なし。

(2) いじめ防止対策について

- ・スマホ利用に関して、鶴丸高校では、生徒のSNS利用についてのルール等は設けているか。  
→生徒心得に「21:00以降は使用しない」と記載しており、生徒へ指導している。  
LHRでは、生徒主体のルール作りや、SNSのあり方等の話し合いをさせている。
- ・アンケートで見られる問題は、特定の部や学級に偏ってはいないか。  
→偏りはみられない。

(3) 各課・各学年の年間反省について

(生徒指導部)

- ・制服に関して、他校では熱中症対策として、体育服登校をしている学校もあるが、鶴丸高校は検討されているか。

→体育服や自由なポロシャツではなく、制服とは別に、統一したポロシャツの設定を検討中である。

- ・ポロシャツは出すタイプか、中に入れるタイプか、よく議論する必要がある。
- ・ジェンダーや、多様な価値観を持った生徒が、制服が原因で苦慮することなく、皆が通しやすい制服の検討を期待する。
- ・保健室やカウンセラー等に相談された、多様な悩みを抱える生徒の情報を教職員間で共有し、組織での対応をお願いしたい。

(進路指導)

・第一志望を目指して不合格であった生徒には、どのように対応しているか。  
→放課後、特別教室で講義をしたり、個人添削を行うなど、可能な限りの学習支援を行っている。

- ・高校1年生で将来の職業観や選択をするのは難しいのではないかと。生徒の意思や適性を踏まえつつも、志望の変容などにも応じて支援していただきたい。
- ・進路実績は、大学名だけでなく、学部などの情報も可視化すれば、鶴丸高生の興味や進路志望などが分かり、良いのではないかと。

(学年)

・学年が上がるごとに欠席が増えたり、不登校傾向が増えるなどはないか。また、不登校傾向の生徒への支援はどのようにされているか。  
→2学年・3学年において、進路変更の増加などの顕著な変化はない。  
学年が上がるごとに、学習面や進路に対する不安や悩みは増えていると思われる。不登校傾向の生徒には、オンラインでの授業を受講させるなど、対応している。

## 6 各委員から

- ・社会に出る前の心身の発達において大切な時期であるが、進学面だけでなく、主体性・思考力・コミュニケーション能力など、社会人として最も求められる力を育てようとしており、安心して子どもたちを任せられる。今後も、様々な問題に対して自ら考えて、周囲に流されずに行動できる力を育ててもらいたい。
- ・文化館において遅くまで電灯が点り、学習している様子を拝見すると、今の設備のままで学習環境に不備はないかと、気にかけている。
- ・アンケート結果などを踏まえ、課題意識を持って取り組んでおり、出来ることに最大限取り組まれる様子に敬服する。学力も大切だが、社会性を備えた人が社会では活躍できると思われるので、生徒に必要な力を把握し、育てようとする事を今後も続けてもらいたい。
- ・普通科で深く学びたいと考え、鶴丸に行きたいと強い思いを持ってチャレンジしたいと考えている中学生は沢山いる。知識などの認知能力だけでなく、見えにくい力である非認知能力の育成も先生方が意識している。AIが発達し、予想以上に早く社会に浸透しているようだが、情報を鵜呑みにせず、自ら考え、判断できる力を今後も育ててもらいたい。
- ・先生方が、自主性や主体性を尊重し、サポートされている様子が拝見できた。アンケート等をもとに課題を議論し、取り組みに繋げている様子に生徒は安心して通うことが出来ると思う。今後もよろしく願います。